



川本建第 155 号  
平成 19 年 5 月 8 日

国土交通省道路局長 様

静岡県 川根本町  
町長 杉山嘉英



### 道路整備の中期的な計画の策定にあたっての意見

日頃より、当地域の道路事業に対するご理解と御支援、並びに事業実施に対しまして、厚くお礼申し上げます。おかげさまで、町内の国道 362 号線及び国道 473 号線の整備も、狭隘箇所を抱えるも従前より大幅に整備され、国道のバイパス工事も進んでいます。

当町は大井川の上流部に位置し、北部に南アルプス、東に政令市静岡、西に政令市浜松、南に東名インター、開設予定の「富士山静岡空港」、「第二東名金谷インター」という地理的条件にあります。

現在地方が置かれている厳しい状況の中で、地域資源を生かし、地域内外との交流の促進を図るとともに、住む人・訪れる人双方にとって魅力を感じられる町をめざしています。交流のターゲットを「東アジアの富裕層」と「国内の団塊の世代」と考えています。

こうしたことを踏まえて、意見を申しあげます。

- 1 日本全土が高速道路の横断道、縦断道によってネットワーク化されていくように、地方の一般道においてもネットワーク化を進めていただきたい。ともすれば国道1号線や県庁・主要都市へのアクセスが優先されてきたように感じられるが、一定の整備が進んだ現在、流域をこえて周遊できるような道路網の整備をお願いしたい。地域資源と静岡空港を道路で結び、様々な地域と連携して周遊コースを設定し外国からも誘客していきたい。
- 2 平均すれば交通量の少ない山間部の整備基準は都市並みにする必要性は感じない。しかし高齢化や、車の高速化（車道整備の成果）により、歩道の必要性を強く感じる。片側でも構わない。
- 3 公共性や広域性のある道路整備が、自治体内の事情だけで整備の優先順位が決められていかないよう、広域での地域振興ビジョンの共有から、この「中期計画」が策定され、活用されることを強く望む。
- 4 山間地の狭隘区間の観光シーズン等における混雑解消のための、円滑走行システムの開発、実施システム提供を望む。

以 上